

令和3年度 校内研修計画

平戸市立田平中学校

研究主題

「自ら学び、基礎・基本が定着している生徒の育成」
～主体的・対話的で深い学びを追求する学習指導を通して～

1 主題設定の理由

昨年度は「自ら学び、基礎・基本が定着している生徒の育成」という主題のもと「生徒が自ら学ぶ授業」を目指し研究および実践を行ってきた。

一昨年度までと大きく変わった点は研究授業の持ち方である。「自ら学ばせる」ためには生徒の学びの実態を正確に把握する必要がある。そのための教師側の「見る力」を育てるため、研究授業の目的を「授業者の指導技術の向上」から「参観者の生徒の学びの事実を見取る」に変更し、授業研究を「生徒の学びから教師が学ぶ」場にした。これにより、教科の壁を越えた意見の交換が実現し、実り多い授業研究となり、授業改善が進んだ。従って、本年度は昨年度の実践をもとにさらに実践を積み重ね、主題に迫っていきたいと考えている。

第一に、主体的に取り組み、お互いに協働しつつ学習を深めることができる課題やそれにふさわしい授業構成の研究を行うことである。それに加えて、本年度は、GIGA スクール構想のもと生徒個人にタブレットが配布されている。生徒の「学ぶ意欲」を引き出すには最適のツールである。本年度はそれを効果的に使う方法を模索しつつ、授業を作っていくことを試みていくことになる。我々教師が、自由に恐れず **Try & Error** を繰り返しつつ、有効な方法を発見しお互いに共有し発展させていくことを目指している。

第二に生徒の学びに向かう姿勢を確立するため、学習規律を決めて継続的に指導をしていくことである。「教室で皆と学ぶ」には学びを喜び、学びに真摯に向き合う「個人」と「集団」の両方が存在する場が「教室」であることが肝要である。生徒の自覚も大切で、規律ある集団作りのため、生徒会活動との連携も大切である。コロナ禍であっても、リモート学習が入ってきたとしても、学ぶ仲間がいることが生徒の学習意欲の維持に支えとなる。

第三に基礎学力の充実のため、朝自習時間の有効活用を行う。全職員で生徒達に指導し、個に応じたきめ細かい取り組みを行うことで、一人一人の学びを保障していく。職員が同じ取り組みをすることで、現状に対する共通認識を持ちチームとして指導していくことができる。

第四に家庭学習を充実させ、積極的な自主学習に変化させていくことをねらう。これは、自分たちの課題であると意識させるために、生徒会活動との連動を強くしていきたい。また、家庭との連携をより密にして、学校－生徒－家庭（地域）が支え合いながら学びを支援していくようにしたい。

生徒は「表現への意欲」あっても基礎力の不足や、論理的に説明する方法が身についてい

なかつたりすると、表現することをあきらめ、学習意欲の低下につながる。よって基礎的な力の定着を自己表現と結び付けて指導し、達成感を味わわせ、学習が無味乾燥なものとならないようにしていきたい。

生徒が自ら学ぼうとするための手立てをあらゆる側面から研究していくことが、基礎・基本が身についた、新しい学力観にあった生徒の育成をめざしていくことになると考えられる。そして、学びは「個」のものであると同時に「集団との関わり」の中で発見され深められるものである。生徒が生き生きと学び、切磋琢磨できる集団を育てることは、本校の教育目標である「認め合い 学び合い 高め合う 生徒の育成」の達成に迫ることができるであろう。

2 研究内容

(1) 各教科における指導のあり方

① 基礎・基本の定着を図る指導方法の研究

- ア 各教科による基礎・基本事項の洗い出しと到達目標の設定。
- イ 学習規律の徹底と定着（全教室に「学習のきまり」の掲示）
- ウ 朝自習の活用
- エ 家庭学習の習慣化と内容の充実

② 主体的・対話的な学びを通して、思考力や表現力を向上させる指導方法の研究

- ア 生徒が主体的に取り組む教材開発や授業形態の研究。
- イ 生徒の学びの事実を見取る力の向上と授業研究の在り方の研究。
- ウ ICTを活用した授業のありかたの研究。
- エ 全職員が年1回行う研究授業。

(2) より良い学習環境と人間関係の支援の在り方

① 掲示教育の改善

- ア 教室内の掲示物の配置
- イ 教科ごとに掲示エリアを設置するなど、校内学習環境の向上

② 互いに高め合い、切磋琢磨する集団の育成

- ア 学級活動の活性化と実践
 - ・短学活での1分間スピーチ（例 自分の考えを根拠を示して話す）や構成的グループエンカウンターの実施
- イ 専門部活動や生徒会活動における話し合い活動の充実

(3) 家庭と連携した基本的生活習慣の在り方（「子どもの学びの習慣化」の推進）

① 家庭と協力し、基本的生活習慣及び家庭学習の習慣化の助長

- ア 早寝・早起き・朝ご飯の実施

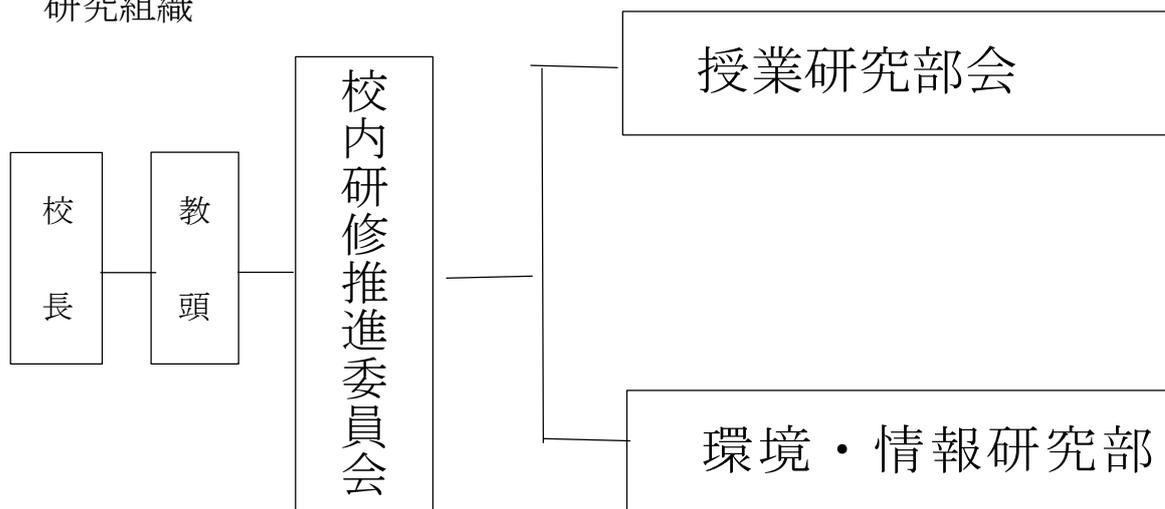
イ メディア・コントロール・チャレンジの実施（各学期に1回ずつ）

② 家庭学習習慣の確立

ア 学習「学ぶ力」アンケートの実施（各学期に1回ずつ）

イ 自主学習の充実（生徒会活動との連携）

3 研究組織



4 年間計画

月	研 修 項 目・内 容
4	○運営委員会（今年度の研究主題・研究内容の検討）
5	○推進委員会（本年度の具体的な研究計画の検討） ○校内研修計画確認（全体、2部会に分かれて）
6	○校内研修計画確認および活動（2部会）
7	○活動の確認・反省（2部会） ○「学習（学ぶ力）アンケート」実態調査（1）
8	○1学期の成果と課題 ○各種研修会の伝達講習
9	○校内研修計画確認（2部会） ○研究授業・授業研究
10	○各種研修会の伝達研修 ○研究授業＜中心授業＞
11	○研究授業・授業研究

1 2	○校内研修計画確認（2部会） ○「学習（学ぶ力）アンケート」実態調査（2） ○研究授業・授業研究
1	○校内研修計画確認（2部会） ○研究授業・授業研究
2	○校内研修のまとめ（2部会） ○研究授業・授業研究 ○「学習（学ぶ力）アンケート」実態調査（3）
3	○各教科・各領域の年間のまとめ（成果と課題） ○研修のまとめ 来年度の方向性について

5 研究の全体構想

